

平成30年度事業計画

社会福祉法人 恵和会
さざんか園小畑デイサービスセンター
小畑在宅介護支援センターさざんか園
さざんか園ホームヘルプサービス
銚子市東部地域包括支援センター

ーはじめにー

今年度は、改正介護保険制度の施行により、4月から障害者と高齢者が共に利用できる「共生型サービス」、8月から一部のサービス利用者の3割負担、10月から福祉用具貸与の全国平均価格開示と上限価格制などが始まります。これらにより、多くの事業所そして事業体制においても、その対応を求められることとなります。また、「通所介護事業」では、自立支援・重度化予防へのアウトカム評価が導入されることにより、ルーティン業務でも大きな変更が見込まれますので、その内容の把握と理解をしっかりと職員に教育していくこととなります。

また、「地域包括ケアシステムの構築」という言葉が周知されてきた昨今では、益々介護業界において、「地域」というキーワードがより重要性を帯びてきています。そのため、事業所自体が「地域に開かれた存在」であることが大事になってきます。実際、地域に存在する課題は多様で、地域と私たち事業所との関係性を考えると、介護事業所は高齢者の介護という課題を解決することは当然のことですが、介護以外の地域課題の解決にもどれだけ関与していけるかが今後の大きな目標になっていくと思います。つまり、介護事業所は、「地域づくり」の一環を担っているということを自負しながら、地域との関係性を構築していくことが大事かと思えます。それについては、当事業所は、H28年10月より、その「地域包括システムの構築」の一助を担うために受託した「地域包括支援センター」の事業を一年半展開してきたことから、地域と交わることでその信頼関係を徐々に作り上げてきたことにより、より一層の地域への関与の大切さを実感しております。

また、前年度掲げた自施設の課題や未達の目標をしっかりと見据え、それを達成するために、部署ごと・職員個人ごとに、段階的に目標を設定することにより、やり遂げるためにはどうしたら良いかを明確にしていきます。

今年度は、こうした取り組みを一つひとつ検証しながら、着実に前に進んでいきたいと思えます。